

# 2021 年 度 事 業 報 告 書

## I 事 業 の 概 要

### 1. 遠山記念館の維持運営

- ・遠山記念館の維持運営については、従来の方針を踏襲した。

### 2. 美術品、その他資料の収集、保管並びに一般公開

#### (1) 美術品、その他資料の収集、保管

##### (イ) 寄 贈

遠山公一 様 パブロ・ピカソ「女性頭部」、ジュゼッペ・カポグロッシ「スーペルフィーチェ、579 (表層)」、ルーチョ・フォンタナ「空間概念、自然」 計3件

小林桂子 様 作品及び織り資料 計27件

三浦鴻 様 褐色陶刻線獣神文様大鉢の土器片 計1件

##### (ロ) 購 入

狩野養長「平治物語絵巻模本（待賢門合戦巻、六波羅合戦巻上下）」 計1件

#### (2) 美術品、その他資料の一般公開

##### (イ) 展 観 の 日 程

回	期 間	展 観 名	展 観 内 容
1	4月3日(土) ～5月30日(日)	特別展 遠山記念館の50年	遠山記念館が2020年に開館50周年を迎えるにあたり、この50年のあゆみを振り返り、これを記念して「佐竹本三十六歌仙絵 頼基像」をはじめとする重要文化財6件、重要美術品9件、名物3点を一堂に集め、当館を代表する作品を一挙に公開した。(新型コロナウイルスの影響により、当初予定より1年延期された)
2	6月12日(土) ～9月26日(日)	コレクション展1	日本美術から中国美術、オリエント美術、アンデス美術と、幅広いジャンルの作品を所蔵する遠山記念館のコレクションの中から、今回は日本の「色絵蝶牡丹に鳥文鉢」や中国の「五彩狩獵文鉢」をはじめとする世界各地の彩文陶磁と、川端龍子「龍門」など日本の書画や染織品を展示した。
3	10月9日(土) ～11月28日(日)	テーマ展 織の世界に遊ぶ心 —小林桂子の布創り—	織物研究者である小林桂子氏は、世界の織物を収集し、その技法について研究をすすめながら、そこで得た知見を活かした作品を創り出してきた。2013年～2019年に寄贈された小林氏のコレクションと作品を合わせて展示した。
4	12月11日(土) ～1月23日(日)	コレクション展2	年末から年始にかけてのコレクション展。遠山記念館の所蔵品の中から、伝俵屋宗達「大蟲図」、森鳳聲「虎」をはじめとし、干支にちなんだ彫刻や小袖類などを展示した。

回	期 間	展 観 名	展 観 内 容
5	2月11日(金) ～3月13日(日)	テーマ展 雛の世界	江戸期に開花した人形文化は、日本独自の雛人形を母体として、多種多様な人形を生み出してきた。享保雛、次郎左衛門雛、古今雛や高さが2cm程の芥子雛、また近代の名工の作品など、様々な雛人形の他、嵯峨人形、御所人形、賀茂人形、抱き人形などを展示した。

(注) 休館日 ・ 定例休館日 毎週月曜日(当日が祝祭日の場合は翌日)

・ 展示替期間

・ 年末年始 12月21日～1月5日

(ロ) 開 館 状 況

① 開館日数 295 日

② 入館者数 5,906 人

(単位：人)

区 分	今年度	前年度	増減差
大 人	3,277	3,132	+145
学 生	160	67	+93
団 体	108	43	+65
※他	2,361	1,654	+707
合 計	5,906	4,896	+1,010

※他 招待、小人、優待、無料、YFC・県教委・障害者

③ 入館料収入

(単位：円)

今年度	前年度	増減差
3,870,340	3,267,740	+602,600

(3) 収蔵作品の保存修復活動

青焼面裏打ち (小野瀬修雅堂) 8月5日～2022年4月20日

板蔵殺虫 (関東港業) 10月18日

外部燻蒸 (関東港業) 12月7日～12月11日

(4) 収蔵作品の新規評価活動

該当事項なし

### 3. 展示等に関連する講演会、教育普及関連の催事の開催

#### (1) 展示関連の催物、ワークショップ、ギャラリートーク等

50周年記念連続講座「遠山記念館の重要文化財」(ZOOM開催)

4月17日(土)「佐竹本三十六歌仙絵を味わうー歌と肖像の情緒ー」

講師：井並林太郎(京都国立博物館)

4月24日(土)「風流才子・英一蝶ー「布晒舞図」を中心にー」

講師：池田芙美(サントリー美術館)

5月8日(土)「大坂の南画家 岡田半江」講師：星野 鈴(前東京造形大学教授)

5月16日(日)「源頼朝書状と山城介久兼・畠山重忠」講師：清水亮(埼玉大学)

5月22日(土)「秋野蒔絵手箱ー蒔絵を楽しむ」講師：永田智世(根津美術館)

5月30日(土)「はじめての寸松庵色紙ー書かれた当初の姿と千年伝来ー」

講師：久保木彰一(遠山記念館)

11月6日(土)オンライン講演会「世界の布から生み出す糸遊び」

講師：小林桂子(織物研究家・作家)

#### (2) 投扇興を楽しむ会

新型コロナウイルス感染対策として中止

#### (3) 遠山邸 2階の特別公開

新型コロナウイルス感染対策として中止

### 4. その他目的を達成するために必要な事業

#### (1) 博物館実習の受託

新型コロナウイルス感染対策として中止

#### (2) 美術品の貸出協力

	貸出先	展覧会名	貸出期間	貸出作品
1	埼玉県立美術館、島根県立石見美術館	美男におわす	9月15日～2月2日	1. 安田靉彦「風神雷神」
2	九州国立博物館	海幸山幸ー祈りと恵みの風景	9月29日～12月16日	1. 石山切伊勢集

#### (3) 助成金、奨学金の支払い

(イ) 遠山記念館芸術・学術等助成金として、「埼玉県文化振興基金」に100万円を拠出した。

また、公募申請の結果、1名(小鷹拓郎氏：埼玉県在住の現代アート制作者)に25万円支払った。

(ロ) 遠山記念館留学生奨学金として、「埼玉県グローバル人材育成基金」に100万円拠出した。

(ハ) 遠山記念館障害者のための文化芸術振興助成金として、「埼玉県シラコバト長寿社会福祉基金」に100万円拠出した。

### 5. 学芸員による主な研究活動

#### (1) 口頭発表

依田徹「茶の湯文化学会東京例会 大聖寺藩主前田利嚮の茶」(9月4日、ZOOM開催)

依田徹「茶の湯文化学会大会シンポジウム 近代東京の家元と茶道」(9月25日、ZOOM開催)

(2) 外部講座等

依田徹「淡交カルチャーオンライン講座 井上馨と益田孝 前編」(6月26日、ZOOM開催)

依田徹「青山グリーンアカデミー 茶の湯の美 遠山記念館」(8月6日、ZOOM開催)

依田徹「淡交カルチャーオンライン講座 井上馨と益田孝 後編」(8月21日、ZOOM開催)

依田徹「入間市博物館お茶大学 明智光秀の茶」(11月13日)

依田徹「立教大学講演 16世紀日本における宣教師と茶の湯」(11月21日、ZOOM開催)

久保木彰一「非常勤講師(日本美術史担当)」(大東文化大学)

依田徹「非常勤講師(茶道史担当)」(昭和女子大学)

依田徹「非常勤講師(物の文化史担当)」(学習院女子大学)

依田徹「文化審議会文化財分科会 第六専門調査会委員(生活文化、食文化担当)」(文化庁)

依田徹「文化創造アナリスト(盆栽に関する調査報告担当)」(文化庁)

松村久代「さいたま市岩槻人形博物館人形資料等選考評価委員会委員」(さいたま市)

松村久代「さいたま市岩槻人形博物館運営委員会委員長」(さいたま市)

松村久代「さいたま市盆栽美術館資料等選考評価委員」(さいたま市)

松村久代「非常勤講師(博物館実習・博物館展示論・博物館情報・メディア論担当)」(跡見学園女子大学)

(3) 刊行物等

伊住禮次朗, 熊倉功夫, 近藤誠一, 大林剛郎, デービッド・アトキンソン, 保科宗眞, 田野倉徹也, 依田 徹(司会)「ディスカッション ポストコロナ時代の茶の湯とは?(大特集:茶のあるくらしのサステナブル)」『なごみ』42(8)、淡交社、8月

依田徹「書評 桐浴邦夫著『茶の湯空間の近代:世界を見据えた和風建築』」『茶の湯文化学』36、茶の湯文化学会、8月

依田徹「茶会記にヒントあり 再現懐石はシンプルでおいしい(大特集:ほんとうに簡単な懐石料理)」『なごみ』42(9)、淡交社、9月

依田徹「茶人たちの「一期一会」(特集:一期一会を考える)」『淡交』76(1)、淡交社、1月

依田徹「松平親良(瓢々庵)について 明治初期の旧大名茶人として」『茶の湯文化学』37、茶の湯文化学会、3月

※「事業報告の内容を補足する重要な事項」(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項)がないため、事業報告附属明細書は作成しなかった。

# 貸借対照表

公益財団法人遠山記念館

令和4年3月31日現在

単位：円

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金・預金	123,133,739	67,556,746	55,576,993
未収入金	0	2,891,821	-2,891,821
流動資産 合計	123,133,739	70,448,567	52,685,172
2. 固定資産			
(1)基本財産			
土地	1,858,453	1,858,453	0
建物	63,372,037	63,372,037	0
美術品	1,039,355,725	1,039,355,725	0
図書	206,455	206,455	0
基本財産維持特定資産	2,460,680,816	2,403,239,217	57,441,599
基本財産 合計	3,565,473,486	3,508,031,887	57,441,599
(2)その他固定資産			
土地	312,416	312,416	0
建物	392,402,869	400,619,153	-8,216,284
構築物	1,208,013	1,348,303	-140,290
図書	11,248,936	11,248,936	0
美術品	1,292,168	892,168	400,000
什器備品	324,259	1,191,913	-867,654
リース資産	6,508,940	7,813,171	-1,304,231
建物付属設備	267,208	347,336	-80,128
その他固定資産 合計	413,564,809	423,773,396	-10,208,587
固定資産 合計	3,979,038,295	3,931,805,283	47,233,012
資産 合計	4,102,172,034	4,002,253,850	99,918,184
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	0	1,169,405	-1,169,405
預り金	283,085	0	283,085
流動負債 合計	283,085	1,169,405	-886,320
2. 固定負債			
退職給付引当金	19,831,917	19,316,038	515,879
リース債務	6,308,840	7,635,792	-1,326,952
固定負債 合計	26,140,757	26,951,830	-811,073
負債 合計	26,423,842	28,121,235	-1,697,393
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	1,564,574,348	1,564,574,348	0
(うち基本資産への充当額)	1,271,958,952	1,271,958,952	0
(その他資産への充当額)	292,615,396	292,615,396	0
2. 一般正味財産	2,511,173,844	2,409,558,267	101,615,577
(うち特定資産への充当額)	2,293,514,534	2,236,072,935	57,441,599
(その他資産への充当額)	217,659,310	173,485,332	44,173,978
正味財産 合計	4,075,748,192	3,974,132,615	101,615,577
負債及び正味財産 合計	4,102,172,034	4,002,253,850	99,918,184

# 正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日  
(全事業)

公益財団法人 道山記念館 単位：円

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 事業収益			
博物館事業収益	3,870,340	3,267,740	602,600
出版物等販売等	365,712	385,207	△ 19,495
貸席料収益	383,000	110,000	273,000
掲載料収益	389,500	325,600	63,900
事業収益計	5,008,552	4,088,547	920,005
② その他収益			
受取配当金利息	2,219,288	2,671,238	△ 451,950
受取寄付金	20,030,000	5,000,000	15,030,000
友の会貸助金収益	5,237,000	5,818,384	△ 581,384
雑収益	66,618	6,666,989	△ 6,600,371
その他収益計	27,552,906	20,156,611	7,396,295
経常収益計	32,561,458	24,245,158	8,316,300
(2) 経常費用			
① 事業費用			
給料手当	22,703,428	22,092,160	611,268
臨時雇賃金	1,703,901	1,687,096	16,805
福利厚生費	5,336,378	4,719,520	616,858
旅費交通費	327,629	366,178	△ 38,549
通信運搬費	685,671	559,803	125,868
減価償却費	5,422,441	5,541,888	△ 119,447
消耗品費(含 消耗什器備品費)	106,217	88,951	17,266
修繕費	3,270,386	2,033,624	1,236,762
資産管理費	7,405,585	6,962,065	443,520
光熱水料費	1,786,449	1,669,725	116,724
図書費(購読料)	8,233	15,326	△ 7,093
印刷製本費	666,215	1,996,755	△ 1,330,540
広告宣伝費	1,834,580	2,047,860	△ 213,280
展示費	282,452	455,082	△ 172,630
支払保険料	508,020	326,190	181,830
支払助成金寄付金	3,250,000	3,500,000	△ 250,000
諸謝金	74,548	33,411	41,137
講師料	203,877	36,822	167,055
委託報酬費	2,816,350	2,817,690	△ 1,340
雑費	283,100	933,464	△ 650,364
事業費用計	58,675,461	57,883,610	791,851
② 管理費用			
給料手当	10,405,300	10,125,200	280,100
福利厚生費	1,153,240	1,019,936	133,304
旅費交通費	245,737	274,640	△ 28,903
通信運搬費	1,993	1,631	362
減価償却費	6,197,074	6,333,587	△ 136,513
消耗品費(含 消耗什器備品費)	90,478	75,775	14,703
修繕費	2,691,260	1,673,020	1,018,240
光熱水料費	694,728	649,336	45,392
謝金費	145,000	0	145,000
会議費	0	15,260	△ 15,260
事務費	351,168	0	351,168
租税公課	1,600	2,000	△ 400
支払手数料	225,109	310,095	△ 84,986
交際費	104,749	83,640	21,109
退職給付引当金繰入	515,879	556,192	△ 40,313
委託報酬費	8,448,800	8,453,070	△ 4,270
雑費	284,689	472,510	△ 207,821
管理費用計	31,536,804	30,045,892	1,490,912
経常費用計	90,212,265	87,929,502	2,282,763
(3) 基本財産評価増減			
有価証券運用益	116,708,872	39,101,187	77,607,685
有価証券評価益	42,627,512	22,244,571	20,382,941
有価証券運用損	0	0	0
有価証券評価損	0	0	0
当期経常増減額	101,685,577	△ 2,338,586	104,024,163

科目	当年度	前年度	増減
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
建物修繕引当金取崩額	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
支払法人税等	70,000	70,000	0
経常外費用計	70,000	70,000	0
当期経常外増減額	△ 70,000	△ 70,000	0
当期一般正味財産増減額	101,615,577	△ 2,408,586	104,024,163
一般正味財産期首残高	2,409,558,267	2,411,966,853	△ 2,408,586
一般正味財産期末残高	2,511,173,844	2,409,558,267	101,615,577
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
1. 特定資産運用増減			
(1) 特定資産運用益			
特定資産運用益計	0	0	0
(1) 特定資産運用損			
特定資産運用損計	0	0	0
特定資産運用増減計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,564,574,348	1,564,574,348	0
指定正味財産期末残高	1,564,574,348	1,564,574,348	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>4,075,748,192</b>	<b>3,874,132,615</b>	<b>101,615,577</b>